平成３０年度品目別等輸出促進対策事業に係る事業実施報告書

１．　取組名

みかんの輸出拡大に向けた取組

２．　実施期間

（１）現地調査・商談　平成３０年１２月２４日（月）～２６日（水）

（２）販売促進　　平成３０年１２月２４日（月）～２６日（水）

３．　対象国（地域）

台湾（台北）

４．　実施場所

（１）現地商談　商田實業

（２）現地調査　台北市内量販店

（３）販売促進　ｼﾃｨｰｽｰﾊﾟｰ３店舗、ＳＯＧＯ２店舗、三越２店舗

微風広場２店舗　計９店舗

５．　参加者

ＪＡあいち経済連

６．　内容

（１）現地輸入商社（商田實業）との商談結果

①産地スタンドパックの評価

日本産及び産地が分かることから良い

産地スタンドパックを使用する事で店舗販売価格を上げる事は困難

②２ｋｇ化粧箱の評価

商品は２Ｓではなく、Ｍ・Ｓを使用したい（高級感）

２ｋｇではなく１．２ｋｇ前後の小箱が良い

化粧箱は高価格での販売となるため販売数量は少なく増量は難しい

③３Ｓ品（加工向け）の商品化について

玉サイズが小さすぎる事と傷等の外観により販売は難しいとの判断

④次年度に向けた納品価格について

産地としては日本国内の価格が堅調であり輸出向け価格の底上げを希望

⇒仕入価格の上昇で販売価格が高くなり販売数量の減少が見込まれる

⇒継続して価格交渉を行う

（２）販売促進活動

①台湾での愛知県産みかん販売状況

販売形態		台湾＄	日本円
みかん２Ｓ（8P）	ネット	169	680
みかん２Ｓ（10P）	ネット	199	800
みかん２Ｓ（8P）	ビニール袋	199	800
みかん２Ｓ（12P）	ビニール袋	199	800
みかん２Ｓ（10P）	産地ｽﾀﾝﾄﾞﾊﾟｯｸ	199	800
みかん２Ｓ（24P）	化粧箱	880	3,500

視察店舗：ｼﾃｨｰｽｰﾊﾟｰ、ＳＯＧＯ、新光三越、微風広場

店舗により販売形態は様々であるが、販売価格は200Ｎ．Ｔ$が中心

富裕層向け量販店という事もあり売価は高めの設定となっている

②台湾で好まれる小玉（マルチ栽培品２Ｓ）を出荷

③出荷量６，４６０ｋｇ（前年比１６４％）

④販促（フェア）は全農と協力して全農フェアとして９店舗で３日間実施

⑤本年の取組では傷み等のロスは約５％程度との報告であり昨年を下回った

⑥お客様の評価として、各店舗とも「甘い」「美味しい」との意見

⑦試食してもらうと多くの客が購入していただける

⇒マルチ品２Ｓの食味は好評であり台湾での評価は高まりつつあるので品質管理には十分留意して今後も取組む

店舗での販促状況

産地化粧箱・スタンドパックでの販売

ネットでの販売

ビニール袋での販売